

近代建築思潮史(SA専門科目)

=====

科目名：

近代建築思潮史 (英文科目名：History of Modern Architectural Thought)

2単位 選択 建築学専攻1年 前期 講義

担当教官：

奥富利幸(居室：建築学科棟2階) Email:okutomi@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

現代建築の源流となった近代建築誕生の要因を社会的背景も含めて考察する。また、近代建築技術の内容と今日への影響を理解する。

達成目標：

近代建築を識別し、その特徴を見出し、建築史学的な観点で理解できるようになること。

教科書：

特になし

参考書：

藤森照信「日本の近代建築」(上・下)(岩波新書)、日本建築学会編「近代建築史図集」(彰国社)

学習方法：

予習-参考書を読む。

授業-授業内容に関するレポートを作成する。

復習-近代建築に関する情報を分析し、評価する。

学習保証時間：

100(分週)×15(週年)=1500(分年)=25(時間年)

キーワード：

近代建築史、近代建築技術、近代建築思潮

授業内容：

1. 建築史方法論(2週)
2. 都市計画・整備(2週)
3. 伝統的町並み(2週)
4. 近代建築技術(2週)
5. 近代様式建築(2週)
6. 近代住宅様式(2週)
7. 近代建築調査・発表会(3週)

授業方法：

講義は、配布するプリント、資料に沿って行う。その後、テーマに関するレポートを作成する。調査・発表会では、各自テーマを設定して、文献調査及びフィールドワークを実施後、報告書をまとめて発表する。

カリキュラム中の位置づけ：

建築を史学的観点で総合的に検証する授業である。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築史、建築材料、鉄筋コンクリート構造、鋼構造、木構造、建築計画、都市地区計画、
建築生産、建築法規、建築構法計画

この科目と同時に学ぶ関連科目

まちづくり論、都市防災論、工業化建築論

この科目の後に学ぶ関連科目

文化財保存論、居住地計画論

評価方法：

評価は出席状況とレポートの内容、調査発表会等の総合評価により行う。

連絡事項：

調査課題に関しては教官と相談して決定する。

学生へのメッセージ：

この授業で、伝統建築から現代建築に橋渡しをした近代建築の意義を総合的に検証しよう。

=====